

令和3年10月28日開催定例美祢市教育委員会会議録（要旨）

開催日時 令和3年10月28日（木）午後2時から午後3時10分

開催場所 美祢市役所3階「委員会室」

出席委員

中本 喜弘 教育長
金子 明美 教育長職務代理者
山本亜由美 委員
刀禰 信子 委員
山田 裕治 委員

5人

出席教育委員会事務局職員

末岡 竜夫 教育次長
八木下理香子 事務局長
河村 充展 // 教育総務課長
渡辺 義征 // 学校教育課長
千々松雅幸 // 生涯学習スポーツ推進課長
池田 正義 // 文化財保護課長
藤本 儀昭 // 学校教育課指導班長
倉増 裕 // 教育総務課総務班長

8人

開 会

教育次長 末岡 竜夫

午後2時 末岡教育次長が10月の定例教育委員会会議開会を宣言する

冒頭報告（要旨）

教育長 中本 喜弘

新型コロナウイルス感染者数も激減しており安堵しているところで、行事についてもコロナ対策をしながら土日に色々と入ってきており、忙しくなってきたところである。

天候はいつまで夏が続くのかと思っていたが、このところ朝夕は急に寒くなってきた。日中についてはポカポカ陽気で外出に心がそそられる日が毎日のように続いている中で、本日は会議への出席に感謝する。

開会にあたっての報告は以上である。

署名委員指名

教育長 中本 喜弘

署名委員に山田委員、金子委員を指名する。

会議録承認

教育長 中本 喜弘

前回の会議録の承認について、事前に山本委員と山田委員へ配布された会議録への意見、質問を委員に求める。

全員承認

教育長報告（要旨）

9月29日から9月の市議会定例会が開会して、教育委員会では補正予算関係が主であり、内容については教育総務課長から報告させるが、無事、可決され議会が閉会した。

文化財保護課所管だが、文化財保護審議会、それから中段の秋吉台科学博物館協議会、下段の、長登銅山跡地調査及び整備委員会と、文化財に係る大事なところを池田課長に所管してもらっており、それぞれが順調に進んでいると考えている。

学校訪問も久しぶりの開催で、今年度は新校長の学校のみということで人数制限をかけながらの訪問としており、明日も引き続き伊佐中学校に訪問することになっているが、子供たちの姿を見ることができその姿に安心しながら訪問させてもらっている。忙しく進めているが、よろしく願います。

八木下局長所管の日本ジオパーク全国大会であるが、残念ながらウェブの開催となり、秋芳中学校が Mine 秋吉台ジオパークの代表としてオンラインでポスターセッションの発表をした。市長、それから私も秋芳中の現場で発表内容を見ていたが、子供たちはしっかりとした発表をしていた。

美祢市教育功労者表彰式については10月14日に教育委員代表として、金子職務代理も同席をしていただき表彰式を行った。6個人1団体の皆様に功労者表彰をさせていただいた。市長、副市長にも入ってもらい懇談した後に記念撮影を行った。少し遅れるタイミングで24日の山口新聞にその様子が掲載された。

15日の金曜日に美祢市の生涯学習のまちづくり推進協議会、千々松課長の所管であるが、松原会長のもと11月の6日・7日と予定しており、6日にオープニングイベント開催に向けて前向きに考えていくことになっている。

コロナの感染状況で練習等が難しかった団体については、今回は披露できないところもあると聞いているが、生涯学習の一番大きいイベントなのでしっかり成功に向けて事務局も頑張っていきたいと考えている。

16日土曜日の図書館車座集会であるが、図書館基本構想の素案ができて、

委員の皆様からも熱い議論をいただいた上で市民の皆様にも中間報告し、意見をいただくということで新型コロナの対策の中、市民会館の大ホールで行い、約80人の参加であった。

概略を説明して、講師の岡本さんから図書館の在り方についても話をいただいた上で、参加の市民の皆様からも、多様な意見をいただいたことで新しい図書館への期待が増している。

改めて、11月末までには意見を踏まえた上で構想を策定したいと考えている。

20日の「ともに一ティング」であるが、県・市町教育長意見交換会で、光市の小中一貫の大和学園という中学校に行ってきた。

ICT教育について子供たちの様子を見させてもらったが、光市はLTE版のiPadを導入しておりWi-Fi環境ではなく4Gでドコモ所管の5年リース契約をしており、ソフトも2つぐらいを入れて使用している。校外学習も積極的に使えるとのことであったが、容量にリミットがあり、3GBまでということで、全体で3,000台以上だがその中で使っている端末と使っていない端末とが家族割の様に調整されているようで、本格的に使い始めるとその容量で足りるのか不安な点もあるとのことであった。

参観したのは英語の授業、それから2小学校と繋いでの社会の授業、支援学級のクイズ形式の授業ももちろんタブレットを使っていた。

それぞれ工夫を凝らして行っていたが、於福小学校訪問に行かれた委員の皆様はお分かりだと思うが、美祢市も頑張っていると実感して帰ってきたところである。

最近は土・日に行事が入ってくるようになり、弁天池の直売所の2周年ということで、市長も来ておられたが、地域おこし協力隊の堀越地区に入っている吉本興業の漫才コンビとそのうちの1人と夫婦である、風船アーティストの3人が賑やかに、マスの掴み取り等も含めて元気にイベントが開催されていた。

公設塾のメンバーも弁天池の見学と併せて来ていた。慶應義塾大学のSFC長谷部先生の研究生1人が覚書を交わして1ヶ月の予定で11月の7日まで美祢市で暮らしている。

公設塾や学校にも公設塾のメンバーと伝えているが、いろんな地域で関わって、地域課題についても抽出していきたいということで、女性の学生さんが頑張ってくれている。

24日の日曜日は、宇部学園の慶進中高の体育館アリーナで、小学校英語スピーチコンテストに美祢から1名、厚保小の女の子が参加してくれて、そのセクションを少しだけ見せてもらったが、50名近い小学校のお子さん、宇部がもちろん中心だが、山口市、防府市、下関市、山陽小野田市、そして美祢市と、色々なところから来ており、本当に立派なスピーチをしていたので、やはり英語教育は早いうちからやっていくのが大事なことだと思って帰ってきたところである。

綾木小学校の学校訪問、それから、一昨日、美祢山梨子供交流事業の実行委員会を行ったが、2年続きで山梨からお迎えすることができておらず、今回は何とか交流したいということで、委員からオンラインで交流会しようという提案があった。11月28日の日曜日の午後に2時間程度の予定で、これから参加者を募って、美祢と山梨が各30人ずつと、ジュニアリーダーたちが参加して世界ふしぎ発見！のパロディで美祢ふしぎ発見！と山梨ふしぎ発見！というクイズ形式での交流を行う予定で張り切っている。

そして今日の午前中、ジオパーク関係で、現在はなかなか自治体同士の交流が出来ない中で、バソと読むようだが台湾の本島から200キロぐらい離れているとの説明であったが、群島の中の花崗岩の島がジオパークに認定されており、美祢市観光協会が協定を結んでいるが、向こう側は国の機関・公園協会・市・県の機関が参加して、美祢市は市長それから観光協会長、私とでジオパークつながりの交流をオンラインで2時間行った。バソから、是非、美祢市のジオパークを視察に行きたいと熱意を持って代表者の方が言われていた。

行事報告に関しては以上である。

報告を終了し、委員に意見を求める。

意見がないことを確認し、行事報告を終了する。

議題及び議事（要旨）

教育長 中本 喜弘

今回の定例会は議案3件である。

議案第57号についての説明を求める。

教育総務課長 河村 充展

議案第57号 美祢市立中学校の廃止についてについて説明する。

於福中学校の大嶺中学校との統合については、今年度に入り、於福小学校、於福中学校、於福中学校2年生保護者、於福小学校全児童保護者、於福小中学校運営協議会との複数回の協議により、理解をいただけてきたところである。

また、8月19日、20日の2日間、地域説明会も開催したところであるが、地域からも特段反対する意見もなく、同意を得られたことから、令和5年3月31日をもって於福中学校を廃止するものである。

教育委員会の承認を得られれば、美祢市議会第4回定例会（12月議会）へ、美祢市立中学校設置条例の一部改正の議案を提出する予定である。

説明は以上である。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

質疑がないことを確認し、議案第 5 7 号は承認された。

教育長 中本 喜弘

議案第 5 8 号及び 5 9 号は関連があるので併せての説明を求める。

学校教育課長 渡辺 義征

議案第 5 8 号及び 5 9 号は関連があるので、併せて説明をさせていただく。

議案第 5 8 号 美祢市立美東中学校 学校運営協議会委員の解任について、学校運営協議会は、学校運営及び当該運営への必要な支援に関して協議する機関として、教育委員会及び校長の権限と責任の下、保護者及び地域住民等の学校運営への参画又は支援若しくは協力を促進することにより、学校並びに保護者及び地域住民等との間の信頼関係を深め、学校・家庭・地域が連携・協働し、「地域とともにある学校づくり」に取り組むため、設置されている。

協議会の委員は、10 人程度とし、保護者、地域住民、対象学校の運営に資する活動を行う者、対象学校の校長、対象学校の教職員、学識経験者、関係行政機関の職員のうちから、校長の推薦により教育委員会が任命する。

現在の委員の任期は、令和 4 年 3 月 31 日までとしているが、この度、本人から辞任の申出があったため解任を求めるものである。

議案第 5 9 号 美祢市立美東中学校 学校運営協議会委員の任命について、議案第 5 8 号の委員の解任に伴い委員の欠員が生じるため、新たな委員の任命をしたいので、教育委員会の承認を求めるものである。

なお、新たな委員の任期は、前委員の残任期間である令和 3 年 10 月 29 日から令和 4 年 3 月 31 日までとするものである。

説明は以上である。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

質疑がないことを確認し、議案第 5 8 号及び 5 9 号は承認された。

協議報告

教育長 中本 喜弘

教育総務課長に協議報告を求める。

教育総務課長 河村 充展

教育総務課から、大きく2点ほど報告する。

報告の前に、1点お礼を申し上げる。

10月6日水曜日に開催された山口県市教育委員会協議会研修会については、お忙しい中での参加ありがとうございました。

当日、議会对応で同席できなかったが、有意義な研修であったと担当者から報告を受けている。

報告案件に移る。1点目、美祢市教育功労者表彰の件である。

10月14日木曜日11時から、本庁2階応接室において、教育功労者表彰式を行った。今年度の受賞者は個人6人、団体1組だったが、表彰式当日は個人2人が欠席された。

当日は、金子職務代理者にも同席いただき表彰式を行った後、正副市長、副議長を交えた懇談の時間を設け記念撮影を行ったので報告する。

次に2点目、9月議会の件である。

9月議会の関係の報告は、先々月、先月と続いているので、先月の会議以降の経過を簡単に報告する。

先月の定例会議が9月27日だったが、会議以降は、9月29日水曜日に本会議が開催された。本会議においてはそれまでに提出された議案の最終審議が行われ、全て可決された。

教育委員会は補正予算のみである。

その後、例年のとおり、前年度決算の議案が追加提出された。

一般会計決算の審査は、10月6日と7日に予算決算委員会で行われ、13日の最終本会議で承認されたので報告する。

併せて、12月議会の予定だが、現時点の案として11月30日が本会議初日、12月1日から3日までが一般質問、8日が所管の教育民生委員会、9日が予算決算委員会、16日が最終日の予定となっている。

教育委員会からは議案57号美祢市立中学校の廃止の説明の際に補足させていただいたとおり、於福中学校を廃止するための美祢市立中学校設置条例の一部改正の他、赤郷交流センターの使用料の改定、温水プールの指定管理者の指定、補正予算など、何件か議案を提出する予定としているが、詳細については来月の会議で説明させていただく。

教育総務課からは以上である。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

続いて学校教育課に協議報告を求める。

学校教育課長 渡辺 義征

学校教育課からは大きく3点報告する。

冒頭の教育長の報告にもあったが、学校訪問に出席して指導いただきありがとうございます。新型コロナ対策の関係で人数を減らして行っているが、引き続き11月にも行うので、指導いただきたい。

まず1点目は、公設塾minetoについて、本日配付資料の美祢市公設塾minetoオープニングセレモニーという、1枚物のリーフレットをご覧いただきたい。

9月の会議時にも報告したが、コロナ禍で延期されていましたが公設塾minetoオープニングセレモニーを10月の9日土曜日に開催した。

セレモニーの中で子供たち、第1期生の25人でスタートしたが、この25人がデザイナーと共に公設塾minetoのロゴを考えたので、完成したロゴ、またそのロゴを作成するにあたってその作成に込めた思い、それらを参加された皆さんの前で発表した。

また、セレモニー後、挑戦のトビラの授業で塾生が美祢市の観光マップづくりをしていくというプロジェクトに取り組んでいるが、その第1回目の授業を行った。これは観光協会、JALが提携しているプロジェクトで子供たちの視点で美祢市を紹介するもので、観光マップづくりに取り組んでいく過程を通して、色々なことに挑戦をしていく。

どこを紹介するのか、そしてそのためにはどこにインタビューに行けばよいのかということも子供たち自身に考えさせて実際にインタビューをしてマップを作成するというプロジェクトである。

それに向けて、こういうマップづくりをするコンセプトになった思いはどういうものであるのかということをお観光協会やJALの方から少し説明を受けて、子供たちが美祢市のことをどのくらい知っているのかということをおワークショップを通じて考えた。

その後、引き続き毎週土曜日の挑戦のトビラの授業で、そのプロジェクトについて取り組んでおり、美祢市のことを自分たちがほとんど表面的なことしか知らなかったというところから振り返っており、どこをどのように紹介しようかということをお考え続けている。

次に、公設塾minetoのスタッフの任用について報告する。

現在、前嶋、潟中、眞柄の3名のスタッフで運営をしている。

4名体制の準備をしていたが、4人目が11月1日から任用できるように手続を進めている。

安重春奈さんという山陽小野田市出身の方で、慶應義塾大学卒業後、地方創生に関わる企業に就職していたが、子供たちの教育に関わる仕事につきたいという強い思いを持っており、今回、美祢市魅力発掘隊に応募された。この方を1日から任用して4名の体制でこれから子供たちの支援を引き続きやっていきたい。

開塾当初は25名でスタートしたが、その後に申込みがあり、現在は28人に増えている。実際に塾に来ているお子さんの友達や、親同士の知り合いの口コミ

で少しずつ広まっているので、さらに子供たちが集まってくれればと思っています。

この安重については、こちらに着任後に改めて皆様に紹介できる機会を調整したい。

続いてこの公設塾minetoとの関係で、慶應義塾大学との連携について、八木下局長から少し説明をさせていただく。

教育委員会事務局長 八木下理香子

先ほど冒頭の教育長の報告の中でも話があったが、美祢市教育委員会として慶應義塾大学学生のインターンシップの受入れをしており、その件について報告をさせていただく。

慶應義塾大学環境情報学部の長谷部葉子准教授の研究室から、美祢市公設塾minetoの取組を中心に、美祢市の教育事業に関わらせてもらえないかというオファーがあった。この長谷部研究室というのは、学生が地方や海外に行ってフィールドワークを行いながら実践研究をしており、これまでに鹿児島県の口永良部島で地域づくりに関わったり、長野県の本曾町の中学校で学習支援を行ったり、あとアフリカのコンゴ共和国で学校をつくるプロジェクトを行ったりということをしてきている。

美祢市でも今後、数か月単位で学生が長期滞在をしながら課題を探究して、その解決を考え実践研究をしたいという考えをお持ちである。今、受け入れている学生は総合政策学部3年の三橋舞衣さんという方である。

10月9日の公設塾オープニングセレモニーにもこの慶應義塾大学の長谷部先生が出席されたので、出席に合わせて長谷部先生と一緒に来られて、11月10日までの約1か月間、美祢市に滞在しながら公設塾や学校で子供たちと関わったり、先週の弁天池の2周年感謝祭の手伝いをするなど地域の方と関わったり、観光協会のイベントに手伝いに行ったり、市長や藤澤部長の家にホームステイを行うなど、美祢市のことをいろんな角度から知ろうと活動をしているところである。

今後、この1か月の間に住む場所とアルバイト先を見つけて、自力で活動する基礎ができれば、一旦は11月半ばに帰るが、その後また美祢に来て活動をもっと深めていきたいとの思いを持っておられる。

この1か月間は、教育委員会で引き受けて公設塾や学校など教育現場を中心に活動しているが、1か月間の活動の中で地域づくりに学生の力が生かせるのではないか、観光の面で学生の視点が生かせるのではないか、という話になれば、市として大学と協定を結んで活動を進める形もできるのではないかと考えている。

この1か月間の活動の成果報告について11月9日の火曜日午後3時から市民会館の大会議室で成果報告会を企画している。彼女が1か月間で見えて感じたことや今後美祢市でどんな活動がしたいかを発表してもらいたいと思っているの

で、都合が合えば是非お越しいただきたい。

学校教育課長 渡辺 義征

続いて、大きな2点目はA L Tの着任についてである。

コロナ禍の影響により昨年の夏に来日予定であったが延期となっていたA L T2名の来日が決まった。

1人はカナダ出身のロードニー・ショーンさんという男性で今年4月1日現在35歳である。もう10月17日に来日しているが東京で研修中であり美祢市には11月1日に来る予定となっている。

それから、もう1人がイギリス出身のコエロ・ノエルさんという女性の方で、4月1日現在23歳の方で11月7日に来日され、東京で研修を受けて美祢市には11月22日に来る予定になっている。

今回、来日されることで、全く身寄りもないところでの生活となり、市の職員の繁田部長、それから斉藤課長にサポートファミリーをお願いしている。

休日などに一緒に関わってもらって、美祢市を知ってもらうことで少しでも早く美祢市の生活に慣れて、学校の活動にも生かしてもらえればと思っている。

続いて、大きな3点目は、新型コロナウイルス感染症への対応についてである。

新規感染者が大きく減少しており、山口県の感染状況が10月の中旬にステージ1に移行された。

これに伴い、学校における地域の感染レベルを文科省の定めているレベル1に引き下げるように10月15日に各学校に通知した。

これにより、これまでは同居家族等にも発熱等の風邪症状が見られれば、児童生徒は登校しない、職員も出勤しないという形で取り組んでいたところを、本人の健康状態が良好であれば登校も出勤もしてよいということになっている。

学校内では引き続き感染予防の対策を行っているが、できる限りの教育活動ができるように対策をしながら活動を行っているところである。

報告は以上である。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

続いて生涯学習スポーツ推進課に協議報告を求める。

生涯学習スポーツ推進課長 千々松 雅幸

生涯学習スポーツ推進課から2点報告する。

1点目は美祢市生涯学習フェスタについて、本日資料にチラシを1枚入れているが、簡単に説明をさせていただきたい。

委員の皆様方には本日、フェスタの案内をお渡ししたが、案内が遅れて大変申し訳ない。

11月6日にオープニングイベントとして10時から12時まで、市民会館大ホールで開催する予定である。

まちづくりの功績功労表彰は、絵画サークルオリーブ会の代表山根哲夫さん、豊田前女性部の代表梶山文子さんで、放課後子供教室や、豊田前小学校の学校運営に大変御尽力いただいている団体であり、この2団体を表彰する予定である。

それから優良花壇表彰ということで、地区花壇は4地区、学校は3校を表彰する予定である。

啓発作品表彰は、体験作文としては、最優秀2点、優秀7点を表彰する予定である。ポスターの部では最優秀2点、優秀6点を表彰する予定である。

ステージ発表はみね華の会による紙芝居「白い宝物」の実践発表をしていただく。「黒いダイヤ」という紙芝居の絵本を出版されており、当日、ホール入り口付近で販売するということである。1冊1,100円ということで購入を検討していただければと思う。

そして、美東町赤郷地区の北河内神楽舞保存会である神楽舞の発表が行われる。

また、11月6日、7日と舞台で発表がある。具体的にはこの裏面を見ていただければどういった団体が発表されるかというのがわかる。

展示は市民会館や勤労青少年ホーム等で行うので是非、勤労青少年ホームの展示を見ていただければと思う。

2点目は図書館の基本構想、それから車座集会について、資料に冊子になったものを入れている。本日はこの基本構想の概要について簡単に説明させていただく。

美祢市立図書館は昭和48年建設でかなり老朽化が進んでおり、耐震性もない状況である。それから、本棚と本棚の間が非常に狭い。障害のある人たちに使い勝手が悪いとか、閲覧スペースが少ないとか、色々な課題がある。そういった課題を解決するために、美祢の図書館を建て替えようということで、在り方検討委員会を設置して、その図書館のあるべき姿について議論を重ねているところである。

令和2年度、そのあり方検討委員会を3回開催しており、本年度に入り、第4回を8月に開催している。図書館の基本構想のほとんどの部分がまとまったため、それを広く市民の方に知っていただき、市民目線での意見をいただきたいということで、車座集会を開催したところである。

概要について説明をしたい。1ページ目は今述べたとおりである。

2ページ目、美祢図書館の利用の現状であるが、美祢市の人口が約2万5,000

人で、この図書館のカードをつくられている方が4,800人で登録者は19.2%となっている。

県内市町村の平均60%に対して、約3分の1と極めて低い登録者数となっている。

1人当たりの蔵書数は7.36冊と、県内平均を上回っている状況である。

1人当たりの貸出し冊数は2.76冊ということで、県平均を大きく下回っている。ただ利用者1人当たりの貸出し冊数は14.38冊と、県平均を大きく上回っている。これは利用される方がたくさん本を借りているということが、見て取れると思う。

それから美祢市には美祢図書館、美東と秋芳の図書館があるが、この運営上の課題を整理している。美祢の図書館には司書がいるが、美東・秋芳には司書の配置がされていない。三つの同じ設備機能を整えるのは現実的ではないので、三つの図書館をネットワークで結んだ美祢らしい運営が必要ではないかという整理をしている。

それから、3ページ、この美祢市の図書館が担う役割、どんな役割が必要かを役割を1から5に整理している。

役割の1は情報をわかりやすく提供する。

役割の2、多様な学びの活動を支援する。

役割の3、地域の暮らしを支える。

役割の4、地域の歴史と魅力を伝える。

役割の5は楽しいみんなの居場所を提供する。

この新しい図書館に求められる役割として整理している。

木のツリー図があるが、その地表の部分を下支えするのが根っこの部分というイメージになる。この根っこの部分がないと役割を果たすことが出来ない。

役割を果たすための取組の1として、みんなで作るみんなで支える。

取組の2として専門スタッフによる支援体制を充実させる。

取組の3としては、ICT環境の整備によりネットワーク体制を整える。

取組の4として、まちなかの利用しやすい場所につくる。

こういった取組が必要であると考えている。そして、6ページ、今後の図書館施設整備に関する考え方として、美祢、美東、秋芳図書館があるが、美祢の図書館を基幹図書館として位置づけて、二つの美東、秋芳の図書館を地域の図書館、言い方を変えると分館という形で整理したいと考えている。

そして、美祢の図書館、美東の図書館、秋芳の図書館はしっかり連携した上で、各地域の公民館図書室等との連携、各学校の図書室との連携、幼稚園、保育園との連携、今後図書館の学習室を多く利用される高校との連携、そういった多様な連携を取り込んだ美祢システムといったものを構築していく必要があると考えている。

こういったことを車座集会で説明をさせていただいており、基本的にこの基本構想については、理解いただいているのではないかと認識をしている。当日

車座集会では、全国の図書館建設に多数関わっておられるアカデミックリソースガイドの岡本社長さんに「未来の図書館をはじめましょう」というタイトルで講演いただいた。内容的にはこの地域、美祢地域に合った美祢らしい図書館をつくったらどうか。これからの図書館については、融合する図書館、役割や機能が交わりあっていったそういう図書館が必要ではないか。実空間と情報空間、それが融合した図書館、実際、本の実物を持ってみることに、電子書籍で見るそういう空間の融合が必要ではないかという話をされた。

それからあり方検討委員の数名から意見をいただき、一般の方の意見をいただいたところである。少し一般の方の意見をいただく時間が十分とれなかったという反省点はあるが、皆さん前向きな積極的な意見をいただいたと思っている。

今後、第3回のあり方検討委員会を11月18日に開催する予定で、主には今後の運営方針についての議論を行っていく予定としている。

具体的にいつ建設するのかについては、議会に市の大規模事業について本年の2月に説明をしている、その時には令和3年度及び令和4年度に基本構想・基本計画、令和5年度及び令和6年度にかけて、基本設計・実施設計、そして令和6年度及び令和7年度に工事を行っていきたいと説明している。

実際には今後の財源の問題もあり、図書館建設には補助金をできるだけ充てるように努力をしていくので、若干年度が変わる可能性もある。

図書館建設に関わりたい市民の皆様の火が消えないように、事業の進捗を図っていきたいと考えている。

建設場所についてはにぎわいの創出や利便性ということもあり、美祢駅周辺から庁舎周辺の間で検討を今、行っている。施設の融合や複合化も考えなければならぬと思っている。

生涯学習スポーツ推進課からは以上である。

教育長 中本 喜弘

委員に質疑を求める。

教育長 中本 喜弘

続いて文化財保護課に協議報告を求める。

文化財保護課長 池田 正義

文化財保護課からは1件報告する。

11月8日月曜日に開催する秋芳洞照明植生対策市民説明会についての報告をさせていただく。

現在秋芳洞内において繁茂する照明植生に対し、専門家6名からなる照明植生対策委員会で、現状、原因把握及び対策について調査検証が行われ、今年度

末には研究調査報告書が刊行される予定となっている。

現在の進捗状況としては、現状把握と原因把握については概ね終わり、持続可能な対策に向けた取りまとめの協議が次回の照明植生対策委員会で話し合われるところである。

照明植生対策委員会としても、多くの市民に現状を知ってもらうため市民説明会を開催することにした。11月8日月曜日午後6時から秋吉公民館で開催することとしている。委員から、専門の分野について市民にわかりやすく説明してもらうようになっている。

教育委員の皆様にも是非参加いただければと思っている。

以上である。

教育長 中本 喜弘

続いて世界ジオパーク推進課に協議報告を求める。

事務局長 八木下 理香子

世界ジオパーク推進課からは3点報告する。

1点目は日本ジオパーク全国大会について、10月3日の日曜日から5日の木曜日の3日間、全国から637名の参加者で、オンラインで開催された。

資料としては、秋芳中の生徒が全国大会のポスターセッションの中で発表した様子が山口新聞に掲載されていたので添付している。

先ほど教育長報告にもあったが、Mine秋吉台ジオパーク推進協議会の会長の篠田市長、そして幹事長の教育長にも参加をいただき、10月3日の市町村長セッションから4日にあった開会式、特別講演、基調講演、基調提起、そして、秋芳中学校生徒のポスターセッションの発表まで参加していただいた。

事務局としては、4日の午後と5日午前中にテーマごとの分科会に分かれて参加をし、全国各地のジオパークの取組を聴いたり、各地域からの参加者と意見交流をして、濃密な3日間を過ごすことが出来た。

ここで得た知見等を事務局内でも共有しながらMine秋吉台ジオパークでの取組につなげていきたいと考えている。

2点目はジオフェスについてである。資料に11月の市報と一緒に配布する予定のジオ協議会だよりを添付している。

11月13日土曜日に、ジオパークセンターカルスターでジオフェスというイベントを開催する予定としている。

昨年から、コロナ禍で人を集めるイベントが全く開催できていなかったが、市民や観光客にジオパークを身近に感じて楽しんでもらうイベントを実施する。

防災と絡めた特別のジオツアーや、イベントでは定番になっている石灰岩のハンコづくりなどの体験ブース、そして、マスバーガーなどの地元食材のジオ

マルシェの企画をしている。

秋芳中学生徒が全国大会で発表したポスターも展示したいと思っている。

新型コロナの感染状況は、かなり落ち着いてはいるが、マスクの着用やアルコール消毒、連絡先確認のための受付をするなど感染症対策には気をつけて実施する。

3点目は国際交流員の着任について、先ほど学校教育課からALTの着任について報告があったが、ジオパーク推進課の国際交流員も8月に前任者が退任した後、新型コロナの関係で来日できず空席となっていたが、イギリス国籍のジョアナ・ウィルソンさんという25歳の方が着任をされる予定となった。

11月29日に日本に入国をしてそこから約2週間、東京で研修を受けた後に12月上旬に美祢に来る予定である。

以上である。

教育長 中本 喜弘

続けて報告させたが、全体でも委員に質疑を求める。

委員 山本 亜由美

於福中学校が令和5年3月31日に閉校になると聞いた。

令和3年度に卒業するのが4人で、令和4年度に在校生が1名で中学校の中で1人になるのだが、どういう体制になるのか。

学校教育課長 渡辺 義征

保護者や生徒の意向を聞きながらずっと協議をしているところである。於福中学校に通う生徒が1人で、先生の配置がどうなるのかということだが、単純に教員の配置で言えば、定数では、1人で1学級になるので、校長が1人、教諭が2人という体制になる。

ただ、色々難しい問題もあり、教員が3人で学校に生徒が1人という状況になるので、現在いろんな部分においてどういう形がいいのか模索している。

小中一貫教育をできる体制で学習をするのはどうかと、於福小学校の校舎と一緒に生活をするという話も進めている段階である。

この方向に進んだら、現在配置されている小学校の教職員に、中学校の校長、教職員が1つの校舎で教育を行うことになると、小中で校長は1人ということになる可能性もある。

2人配置される先生が、小学校の高学年の専科の指導をしながら、小学校の先生で中学校の免許を持っている教科があれば、残られる生徒の授業を持つこともできると思っている。

もし、於福小学校と一緒に教育を行わずに、中学校での形になれば、他の学校と兼任をする先生を置くことによって、2人のうちの1人が他校と兼任するという形にして教科の指導ができるように交代で入ってもらい、又は、非常勤の先生に入ってもらい、他の教科の指導をするという体制をとるという事が考え

られる。

教育長 中本 喜弘

なかなか難しい問題であり、教員の配置計画は県から言われているので、なるべく早い時期に、保護者と生徒の意向をまとめて、県に報告しなければならない状況である。

しかし、生徒の学びが止まらないように、しっかりとサポートしていく覚悟である。

その他意見を求める。

全員意見なし

教育長 中本 喜弘

最後に、次回の教育委員会会議の開催について事務局に提案を求める。

教育次長 末岡 竜夫

次回の定例教育委員会会議は令和3年11月24日（水）午後2時から勤労青少年ホームの2階図書室で開催する旨を通知。

全員了承

閉 会

教育長 中本 喜弘

午後3時10分 教育委員会会議の終了を告げる。

令和 年 月 日

教育長

委 員

委 員

会議録作成